



『探究シリーズ』

〈中・高校生対象探究キャンプ/教員対象探究研修〉2025

中・高校生探究の集い2025公式イベント

中・高校生対象探究キャンプ

初級プログラム

初級プログラム+中級・上級プログラム

7/31 (木)PM~8/1 (金)AM **OR** 7/31 (木)PM~8/2 (土)AM **のいずれか**

*引率者、見学者も同様(プログラム中、講師陣による簡易教員研修を任意受講できます)

教員対象探究研修

探究研修 (1泊2日) 8/1 (金)~8/2 (土)



探究の学びから世界へ挑む人材へ。

- 「探究学習」とは、一体どのような学習なのか
- 調べ学習とどう違うのか
- 探究にはどのような型があるのか
- 情報を収集し、分析し、自らの判断を下す高次の思考力を効果的に生徒に身につけさせるには…



「探究シリーズ」事務局 (関西学院千刈キャンパス内)

TEL : 079-563-5233

E-mail : campsengari@kwansei.ac.jp

主催 : 関西学院高等部

運営 : 関西学院千刈キャンパス



2025

「探究シリーズ」〈中・高校生対象探究キャンプ／教員対象探究研修〉

申込
期間

2025年4月1日(火)
2025年7月15日(月)



【申込み】



【詳細】

開催
場所

関西学院千刈キャンプ
兵庫県三田市香下1817-1



〈中・高校生対象探究キャンプ〉

初級プログラム 7/31木 PM～8/1金 AM

- 探究学習基礎講座(講師による探究学習の基礎的な知識、技能の解説)
- 大学院生によるグループ指導(グループ内での個別指導)
- 探究基礎ゼミ(ゼミ形式による講師からの指導)
*リピーター中学生、高校生については、プログラム中に別内容を実施します。
- ポスターセッション形式の簡易発表会

参加費

17,000円

(宿泊費、食費、テキスト代、JR三田キャンパス場送迎費込み)

定員

40名

程度

初級プログラム+中級・上級プログラム

★初級プログラム+中級・上級プログラム(7/31～8/2)は初級プログラムの内容に加え、2日目午後から下記内容を実施します。

7/31木 PM～8/2土 AM

- 探究専門演習(講師とのより高度な議論)
- ライティングワークショップ(探究内容を文章で記述する知識と技術)
*ライティング言語は日本語のみ対応となります。
- ポスターセッション形式の発表+質疑応答の作法講座
*引率・見学教員については探究学習の指導方法等について簡易教員研修プログラムを任意で受講いただけます。

参加費

23,000円

(宿泊費、食費、テキスト代、JR三田キャンパス場送迎費込み)

定員

15名

程度

簡易教員研修(1) 探究キャンプにおける探究指導の基本(関西学院大学 時任隼平)
簡易教員研修(2) 対話型論証の手法と実践(関西学院高等部 前田秀樹)

〈教員対象探究研修〉

探究研修プログラム 8/1金～8/2土

- 導入講義：国際情報分析(知の探究合宿)とは/国際社会の実情と情報分析の意義/情報のカラクリ(調べ学習との違い)/国際情報分析の探究手法の説明
- 演習：国際情報分析
 1. 課題の全体像の把握
 2. キーとなる情報の選択(論点決め)
 3. 個別の情報の収集と分析
 4. 個別の結果の統合
 5. 最終判断に向けての考察
 6. プレゼンテーション作成
- 成果発表にあたっての指導のポイントを共有
- 探究成果のプレゼンテーション
- 指導するにあたっての教育実践・指導ノウハウ、ならびに評価の仕組み等

参加費

19,000円

(宿泊費、食費、テキスト代、JR三田キャンパス場送迎費込み)

定員

40名

程度

詳しいプログラム内容等はこちらを参照ください



(2025年3月公開)

主な指導者



時任 隼平

Jumpei Tokito

関西学院大学 教授(Ph.D.)
専門は教育工学
関西学院高等部カリキュラムアドバイザー
SGH甲子園、探究甲子園、中・高校生探究の集い審査設計担当

参加者の声

梅花高等学校 野宮凜さん

他校の方と交流することにより、それぞれの学校での探究のやり方を知ることができたり、言語化が上手な方々の発表を聞いたりできて、とても良い刺激を得られました。今後もこのキャンプで学んだことを生かして探究していきたいと強く思えました。



關谷 武司

Takeshi Sekiya

関西学院大学 教授(Ph.D.)
専門は教育社会学(教育開発)
JICA派遣専門家として、技術協力プロジェクトの立案、運営、評価を実施
関西学院大学 国際ボランティア担当

参加者の声

兵庫県立国際高等学校 山田 祐史先生

未知の課題の答えを導き出す事は本当に楽しく、まだまだ続けたいと思ってこの合宿の2日目を終える所です。こんな気持ちを生徒にも味わわせたいと感じた研修になりました。探究活動を行っていく上で、教員の準備は非常に重要だと感じましたし、生徒へのアプローチや探究心をくすぐるためには、私たちが常に学び続ける(学びたいと思いつける)ことが生徒への成長に繋がっていくと感じました。この経験を確実に生かし、本校の探究活動のモデルを作成できるように尽力していきたいと思ひます。

お問い合わせ先

「探究シリーズ」事務局(関西学院千刈キャンプ内)

TEL: 079-563-5233

E-mail: campsengari@kwansei.ac.jp